

## 代表質問

## 次代を拓く子どもたちへ～教育予算の拡充、主権者教育の充実、多様な個性への配慮を～

教育は未来への先行投資、  
子どもたちの学びのため  
もっと教育予算を

**問** 本市の教育予算比率は、近隣他市に比べて長年低いが、これについて市長の考えは。

**答** ESDなど特色のある教育の事業費等を増額し、有利な財源を積極的に教育関連事業に活用している。今後もしっかり対応したい。

**再発言** 学校配当予算が少なく必要な教材等も買えないとの声がある。各学校の現状を調べ、予算の拡充を要望する。



(玉川小 芋掘り)

新型コロナウイルス感染症  
感染再拡大の備えや  
ワクチン再接種は

**問** 感染の再拡大に備えてどのように準備されてきたのか。

**答** 福岡県では1,482の病床と11施設2,234室の宿泊療養施設を確保されている。

市の支援としては、自宅療養者へのパルスオキシメータ

一の貸出しや、親族等から支援を受けられない自宅療養者や濃厚接触者等への生活物資提供事業を行っている。  
また、12月からワクチン

の追加接種も開始している。

**再発言** 軽症でも自宅療養とならぬよう県や医療機関と連携し備えることが必要。

また、ワクチンを接種できないなどの未接種者への差別や不利益がないよう、国や県へ、必要な人が無料でPCR検査を受けられる体制づくりを急ぐよう訴えてほしい。

政治や選挙への  
無関心は民主政治の危機、  
しっかりと主権者教育を

**問** 本市の投票率の傾向と、「明るい選挙推進協議会」における主権者教育の取組の現状と課題は。

**答** 若い世代の投票率が低いため、若者の声が政治に届きにくくなっているのが課題。

同協議会では、期日前投票の立会人に大学生が参加する取組等を実施。また、親の投票に同行した子どもは成長後の投票割合が高いという傾向が指摘されており、親子参加型投票の普及にも努めたい。

学校での主権者教育の  
重要性を求める文科省、  
日々の学校生活も見直しを

**問** 学校における主権者教育の現状は。

**答** 社会を生き抜く力や、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身につけさせることを目指し、具体的・実践的な指導に努めている。

**再発言** 日頃の学校生活の中で民主的な環境があるのかも重要。そのような視点での研究・検討も要望する。

多様な個性の子どもたち  
「人一倍敏感な子ども」も  
誰もが安心できる学校に

**問** ハイリー・センシティブ・チャイルド——感覚や人の気持ちに敏感で傷つきやすい気質の子どもが約20%いると言われている。一層の理解や啓発の必要性があるのでは。

**答** 先生方には、正しい知識を身につけ、児童生徒の理解に努めていただく必要がある。今後も個に応じた適切な指導を心がけたい。

ごみの減量化・資源化、  
紙おむつのリサイクルも

**問** エコタウン内に、紙おむつリサイクルの企業が立地され、大木町やみやま市でも紙おむつのリサイクルに取り組んでいる。本市も実施しては。

**答** 回収体制や衛生面に配慮した集積所の選定などの課題がある。今後も注視したい。

**再発言** 燃えるごみの量は、新たなごみ処理施設の規模、建設時の負担や稼働後の管理運営費用に影響する。今後、国内外の脱炭素化社会への動きも加速していくため、さらなるごみの資源化を要望する。